

## 新しい十年の 創造のために

理事長 宮川健郎

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団（IICLO）が大阪府立中央図書館内に事務所を移転し、再スタートしてから十年になりました。資料の移転のために、やはり十年前に新設された大阪府立中央図書館国際児童文学館と協働して研究や国際的な活動を行い、「国際グリム賞」「日産童話と絵本のグランプリ」など財団独自の事業も継続して進めながら、移転十周年記念の事業も展開しました。

秋には、移転十周年記念フォーラム「子どもの本の現在（いま）と未来（これから）」をオンラインで開催しました。登壇者は、宇野和美さん（翻訳家、JBBY副会長・当時）、竹下晴信さん（評論社社長、日本児童図書出版協会会長）、富安陽子さん（児童文学作家、当財団評議員）、宮川健郎（当財団理事長）、司会は土居安子（当財団理事、総括専門員）でした。

また、毎月配信して、多くの方たちに読んでいただいているメルマガジンの特別号を六号発行し、この十年の活動をさまざまな面から振り返りました。財団の経営については、困難な状況がつづいていること、移転前までの主な収入源であった国際児童文学館の運営委託費がゼロになったため、組織を大はばに縮小して、かつての寄付金を取り崩しながら現在に至っているこ

などとも記しました。この状態がつづけば、十年後には財団はもう存続できない——そのようにも述べて、移転十周年の機会に、広く寄付をお願いしました。

十周年記念寄付には、いろいろな方から応援メッセージをいただきました。二〇二二年七月三日には、寄付してくださった方が三十八一人になり、目標額の五百万円を超えました。ありがとうございました。その後もご寄付がつづいていますし、記念寄付とは別に大口の寄付もいただいております。たくさんのご支援に深く感謝申し上げますとともに、これを機に、より一層皆様のご期待にお応えできまよう、さらに努力してまいりたいと存じます。

この一年は、コロナ禍のなかで「YouTube版本の海大冒険」を毎週配信するなど新しい試みにも挑戦して、幸い好評をいただいております。今後は、オンライン講座なども充実させていきたいと考えています。

子どもの本・子どもの文化の未来を拓くことは、この国の未来を創り出すことにほかなりません。皆様からのお励ましによって、大阪国際児童文学振興財団は、新しい十年の創造にむけて歩きはじめました。引き続きご支援、ご協力をいただけますよう心からお願ひ申し上げます。



## オンラインフォーラム 子どもの本の現在（いま）と未来（これから）

子どもの本という文化を継承し、発展させるためには、さまざまな角度から現状を把握することが重要です。当財団移転十周年を記念し、子どもの本の現在と未来について考えるフォーラムを行いました。本フォーラムは無観客で開催し、収録した映像をオンライン配信しました。

- 開催日：令和2年10月10日（土）
- 場所：出版クラブビル（東京）
- 配信日：令和2年12月1日（火）  
（令和3年2月1日（月））

### 講師：

- 宇野和美さん（翻訳家、日本国際児童図書評議会副会長）
- 竹下晴信さん（日本児童図書出版協会会長、評論社代表取締役社長）
- 富安陽子さん（児童文学作家、当財団評議員）
- 宮川健郎（当財団理事長）
- 司会：土居安子（当財団総括専門員）

- 参加者：1,96人
- 主催：当財団

### 講演の概要

#### 第1部 「子どもの本とは」

第1部は、各講師が「子どもの本とは」について語りました。富安陽子さんは、子どもの本を書く理由として、子ども時代の読書体験と子ども読者の特徴について語りました。竹下晴信さんは、カナダ留学中に出会った児童書のこと、児童図書出版協会の役割について語り、宇野和美さんは、翻

訳者、JBBYの副会長の立場から「子どもの本を通して国際理解」について考え、宮川健郎理事長は、幼年期の特徴をとらえ、幼文学の大切さについて述べました。

#### 第2部 フォーラム「子どもの本の現在と未来」

第2部は、幼年文学について、ファンタジーや宮沢賢治について、新型コロナウイルス感染症の拡大と子どもの本のかかわりについて、デジタル時代の紙の本の意味についてなどについて、討議しました。また、最近読んだおもしろかった本の紹介や、今後の活動についてお話しいただきました。めまぐるしく変化する社会の中で、子どもの本の変化するものと変わらないものとは何かが大

きなテーマになりました。最後は、宮川理事長が今日の集しさを豊かさを延長していく中で、財団の今後の十年を作っていくことが大事だし、できるんじゃないかなと思

います。」と結びました。

○報告集を販売しています

（800円・税込）。



しかけ絵本に驚く、楽しむ  
・イギリスの歴史から  
はじめて

「しかけ絵本」のおもしろさは、読者とのかわりによって生まれま

す。イギリスのしかけ絵本をはじめとして、さまざまなか

り上げ、読者がおもしろさを感じる「しかけ絵本」とは何かについて考

える講演会を開催しました。

講師の三宅興子さんが大阪府立中央図書館国際児童文学館に寄贈された貴重な資料の实物を見せながら、しかけ絵本の歴史と魅力についてお話ししました。それらの資料は、大阪府立中央図書館のエントランスで展示されました。

開催日：令和2年11月28日（土）

場所：大阪府立中央図書館

講師：三宅興子さん（当財団特別顧問、梅花女子大学名誉教授）

参加者：40人

また、会場での講演会を撮影・編集した映像を、後日、オンライン配信しました。

配信日：令和2年12月22日（火）  
（令和3年2月25日（木））

参加者：130人  
主催：当財団  
後援：大阪府立中央図書館  
○報告集の販売を予定しています。



講演会  
「ゲッチョ先生ーその好奇心  
はどこからくるんですか!？」

講師の盛口満さん（ゲッチョ先生）は沖繩から、参加者は会場参加かオンライン参加を選択して行いました。

ゲッチョ先生のいろいろな人との出会いから、「著書が生まれるまでの経緯を「好奇心」をキーワードにご講演くださいました。

開催日：令和2年12月12日（土）

場所：大阪府立中央図書館

講師：盛口満さん（沖繩大学学長）

参加者：54人（会場参加14人、オンライン参加40人）

主催：当財団

共催：学校図書研究会「一気になる本を読む会」

\*子どもゆめ基金助成活動

国際講演会  
「チエコの子どもの本  
いま・むかし」

チエコ語の翻訳家である木村有子さんに、チエコの昔話から新しい絵本までを紹介する講演をしていただきます。講師はオンラインで、参加者は会場またはオンラインで参加しました。



開催日：令和3年2月13日（土）

場所：大阪府立中央図書館  
講師：木村有子さん（チエコ語翻訳家）

参加者：66人（会場参加16人、オンライン参加50人）  
主催：当財団  
協賛：サントリーホールディングス株式会社、株式会社富士通システムズアプリケーション&サポート、ムサシ・アイ・テクノ株式会社

\*子どもゆめ基金助成活動  
○報告集を販売しています（800円・税込）。

絵本学会との共催で、絵本セミナー「スズキコージさんたちと語る昔話絵本の魅力」の魅力を「ジョージアのむかしぼなし チンチラ

力と大男」を中心に開催しました。作品の魅力や制作過程、ジョージアの昔話の特徴などが語られました。

開催日：令和3年3月14日（日）  
場所：大阪府立中央図書館  
講師：スズキコージさん（絵本作家）、片山ふえさん（翻訳家、鈴木加奈子さん（編集者）  
参加者：44人  
主催：絵本学会、当財団

スズキコージさんたちと語る  
昔話絵本の魅力



目録  
童話と絵本のグランプリ

アマチュア作家を対象にした創作童話と絵本のコンクール「第37回日産 童話と絵本のグランプリ」を実施しました。審査の結果、入賞作品38編を決定しました。

○応募数 童話の部2,283点、絵本の部413点 計2,696点  
○童話の部 大賞 「ながみちくんがわからない」 数井 美治さん  
○絵本の部 大賞 「マロングラッセ」 だるまもりさん

○表彰式 令和3年3月6日（土）オンラインで開催しました。  
協賛：日産自動車株式会社

また、第36回童話の部大賞および絵本の部大賞作品をBL出版から令和2年12月に出版しました。

童話の部「なすびは何色？」  
山本 泉/作  
山田 真奈未/絵

絵本の部「くつやさんとおばけ」  
いwasaki さとこ/作



子どもに本を  
手渡す人のために

●講座への講師派遣  
子どもの読書活動にかかわるボランティア、司書、学校司書、教員、保護者や子どもに本に関心のある人等を対象とした、本の選び方や読書活動のあり方に関する研修や、本の楽しさを伝える講座、講演会、読書会の講師として、総括専門員、特別専門員を派遣しました。  
・実施回数：23回

●気になる本を読む会  
大阪府域の学校司書とともに、選書をはじめとする学校図書館活動に関わる研究会を実施しました。  
・登録者数：26人  
・実施回数：9回

●審査員・委員など  
左記の事業に、審査員や委員として参加しました。  
・第16回大阪こども「本の帯創作コンクール」  
・令和2年度「心の輪を広げる体験作文」審査（大阪府福祉部）

・第39回人権啓発詩・読書感想文審査会（大阪府民文化部）  
・「コープのえほんでスマイル」専門委員会（大阪いずみ市民生活協同組合）

・第39回人権啓発詩・読書感想文審査会（大阪府民文化部）  
・「コープのえほんでスマイル」専門委員会（大阪いずみ市民生活協同組合）

・第39回人権啓発詩・読書感想文審査会（大阪府民文化部）  
・「コープのえほんでスマイル」専門委員会（大阪いずみ市民生活協同組合）



## 子どもたちに おはなしの楽しさを

### 大阪府立中央図書館との連携

大阪府立中央図書館こども資料室でのおはなし会および人形劇は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためすべて中止となりました。

### 小学校や図書館でのおはなし会やワークショップ

国立国際美術館「ちっちゃなこともびじゅつあー」(2回)

### 児童養護施設でのおはなし会

大阪府域の児童養護施設でおはなし会や人形劇を開催しました。



おはなし会3回  
人形劇3回  
絵本の寄贈のみ3施設  
出 演：おはなしポッポ、人形劇団フルテ

### \*一般財団法人高津成和会助成事業

### 街頭紙芝居の表演

「むかし紙芝居を楽しもう」

開催日：令和2年10月3日(土)

場 所：大阪府立中央図書館

出 演：一般社団法人塩崎おとぎ紙芝居博物館

主 催：大阪府立中央図書館 国際児童文学館 当財団

協 力：一般社団法人塩崎おとぎ紙芝居博物館

協 力：株式会社ジャスティス



「おはなしポッポ」と「人形劇サークルぱれっと」の財団事業への参画子どもと本をつなぐさまざまな事業に当財団所属のボランティアグループに参画していただきました。

また、「おはなしポッポ」は、絵本やおはなしに関する研修を2回行いました。

### ほんナビきつずい 子どもの本をあらすじ、 キーワードから探す

「ほんナビきつずい」はインターネットで楽しく遊びながら、ことばや感情を選ぶことによってお気に入りの本に出会うシステムです。

キーワード、あらすじは当財団で独自に作成。令和2年度は1491冊の本を追加しました。

共同開発：株式会社富士通システムズアプリケーシヨン&サポート

### 本の海大冒険の充実

平成26年度にリニューアルしたインターネットで読みたい本が探せるサイト「本の海大冒険」に新刊図書データを追加し、いっそうの充実を図りました。

協 力：株式会社ジャスティス

### ドキドキ絵本(2) for Kids

平成25年度に開設した、インターネットを見ながら絵本の作り方を体験することができるウェブサイトを「ドキドキ絵本(2) for Kids」にして、チラシの配布や、ワークショップ等を通して普及を行いました。

協 力：株式会社ジャスティス

### マンガのひみつ大冒険!

平成28年度に開設した「マンガのひみつ大冒険!」は、子どもと子どもに読書をすすめる大人を対象に、マンガを通して読書の楽しさや広がり、インターネットで検索したり、遊んだり、体験しながら知ることのできる読書活動支援ソフトです。

協 力：株式会社ジャスティス

### 子ども読書活動の 推進のために

大阪府子ども読書活動推進施策への協力

大阪府が推進する「第3次子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動に関わる他の団体・組織とともに、府内の子どもの読書活動推進に努めました。

### 共同研究を行いました

● 明治・大正期における児童文学・児童文化史の研究—巖谷小波未発表資料の検討を通して

明治・大正期の児童文学についての調査研究を外部研究者とともに行いました。

研究会の開催(4回)

- 研究メンバー：浅岡靖央(白百合女子大学教授)、大貫俊彦(千葉工業大学准教授)、香川雅信(兵庫県立歴史博物館学芸課長)、柿本真代(京都華頂大学准教授)、金成妍(久留島武彦記念館館長)、酒井晶代(愛知淑徳大学教授)、中川理恵子(豊岡短期大学講師)、松本育子(刈谷市美術館館長代理)、目黒強(神戸

大学大学院准教授)、宮川健郎(当財団理事長、武蔵野大学名誉教授、遠藤純(当財団特別専門員/武庫川女子大学准教授)、土居安子(当財団総括専門員・研究代表者)

\* 独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業「基盤研究(C) 令和2年度」(令和4年度)

● 近現代日本の社会運動組織による「スクリーンのメディア」活用の歴史・地域的展開

昭和期のスクリーン・メディアについての調査研究を外部研究者とともに行いました。

研究メンバー：アンニ(日本映画大学特任教授、岡田秀則(東京国立近代美術館主任研究員、紙屋牧子(玉川大学非常勤講師)、鳥羽耕史(早稲田大学文学学術院教授)、吉原ゆかり(筑波大学准教授)、土居安子(当財団総括専門員、鷲谷花(当財団特別専門員・研究代表者)

\* 独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業「基盤研究(C) 平成30〜令和2年度

● 古田足日と子どもの文化をめぐる総合的考察—蔵書・資料のデータベース化、調査を基に

研究分担者として研究を行いました。

研究メンバー：仲本美央(白梅学園大学教授・研究代表者)、井原哲人(白梅学園大学 准教授)、加藤理(文教大学教授)、鬼頭七美(白梅学園大学准教授)、高田文子(白梅学園大学教授)、西山利佳(青山学院女子短期大学准教授、宮川健郎(当財団理事長)

\* 独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業「基盤研究(C) 令和2年度」(令和4年度)

## 内容 もりだくさん! メルマガ発行、 ぜひ会員登録を

毎月メルマガガジンを発行しています。発行は、月1回、毎月20日に配信しています。登録は無料です。皆さまの登録をお待ちしています。

令和3年7月21日現在、登録数は35533人です。内容例は左記のとおり。

① お知らせ  
財団からのお知らせコーナー

② コラム  
新刊書の紹介  
専門職員が理事長、児童文学者と毎月一冊の本を選んで対談します。本に対する新しい見方が発見できます。

③ 子どもの本の珠玉のことは  
子どもの本や児童文学の評論書にある、印象深い言葉を紹介するコーナーです。

④ 行って来ました!  
展覧会や映画、講演会など、子どもの文化に関わる催しのレポート

⑤ 全国のイベント紹介  
他団体等が実施するイベントを紹介

⑥ プレゼント  
今号でとりあげた本やイベントグッズを抽選でプレゼントします。

## YouTube公式チャンネル

令和2年4月に、大阪国際児童文学振興財団公式チャンネル「IRCLO」を開設しました。現在、YouTube版本の海大冒険(松本編、読物編、YA編、科学編)を毎週金曜日に、大人向けに紹介する「新刊子どもの本」がオススメーを毎月10日に配信しています。ぜひご覧ください。

### ◆財団ホームページに、公開内容一覧と、動画へのリンクを掲載しています。



## ツイッターでつぶやいています

平成29年7月からツイッターで営業日は毎日、いろいろな情報を発信しています。ぜひ、フォローしてください。

[https://twitter.com/IRCLO\\_News](https://twitter.com/IRCLO_News)

## 財団のマスコットキャラクター「イクロちゃん」をよりよく

当財団(IRCLO)の新しいマスコットキャラクター「イクロちゃん」ができました。佐々木マキさんにデザインしていただきました。



## 論文集

### 「大阪国際児童文学振興財団 研究紀要」第34号の発行

今号も、大阪府立中央図書館国際児童文学館の資料を活用した研究論文を公募しました。6編の応募があり、2編を採用しました。

- 【目次】  
 JOBK「子供の時間」の研究  
 一 足立勤の入局と新企画  
 崑山兆子

- 課外読み物としての松山思水「喜劇と喜歌劇 アンポンタンの位相」  
 目黒 強

- 少年少女雑誌と日記帳  
 一 博文館・金港堂・美業之日本社を中心に  
 柿本真代

- 〈研究ノート〉  
 松美佐雄の長野時代  
 一 「信濃毎日新聞」掲載作品に関するノート  
 大貫俊彦

- 『幼年世界』(第1次)における巖谷小波作品の特徴  
 土居安子

- 絵本作家デビュー当時のせなけいこの絵本つくり  
 一 「ねないこだれだ」「にんじん」「おーんあん」のダミー本を手がかりに  
 松本育子

## 出版や展示の企画を行いました

貴重な資料の複製や作家選集、論文集など児童文学・児童文化に関わる各種出版事業の相談に応じています。

- 「進研ゼミ電子図書館まなびライブラリー」株式会社ベネッセコーポレーションから受託し、選書の支援を行いました。

- 出版社等による企画協力業務の受託「コープのえほんでスマイル」大阪いずみ市民生活協同組合から受託し、絵本選定、ガイドブック原稿作成を行いました。

## 資料を販売しています

### ●財団発行資料

- 「2020年度報告集 IRCLO 移転10周年記念 フォーラム(子どもの本の現在(いま)と未来(これから)」(宇野和美、竹下晴信、富安陽子、宮川健郎) 8800円
- 「2020年度国際交流事業報告集 国際講演会「チエコの子どもの本(いま・むかし)」(木村有子) 8800円
- 「2019・2020年度連続講座報告集「目で見えるイギリス児童文学の歴史」(三宅興子) 15400円
- 「2019年度講演会報告集「紙芝居の歴史から子どもの読書文化」(三宅孝之)」(浅岡靖央) 8800円
- 「2019年度国際交流事業報告集 国際講演会「韓国の絵本作家パクジジョンチエの絵本を語る」(パクジジョンチエ、広松由希子、申明浩) 11000円
- 「国際児童文学館紀要」1号〜26号 11000円〜20900円
- 「大阪国際児童文学振興財団 研究紀要」27号〜34号 14300円〜17600円

そのほか、国際講演会報告集、論文集など多数あります。ご希望の方はお問い合わせください。(価格税込)

## 記念寄付のお願い!

—再スタート10周年 次の10年のために—

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。ぜひ、ご協力いただきますようお願いいたします。現在、10周年記念寄付として、年間1万円以上ご寄付いただいた方には、佐々木マキさんデザインのイクロちゃんグッズをプレゼントしています。(令和2年11月から令和3年10月まで)

- 【ご寄付の種類】  
 ◇継続寄付(毎年、毎月) ◇単発寄付

- 【ご寄付の方法】  
 ◇クレジットカード  
 ウェブサイト「Syncable(シンカブル)」の大阪国際児童文学振興財団ページから  
 ◇ゆうちょ銀行 振替口座に払い込みください。

☐座番号 00910-8-282098  
 加入者名 一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団  
 ※ 他の金融機関からの振込の場合  
 店名 ○九九店(ゼロキュウキュウ店)  
 店番 099 預金種目 当座  
 ☐座番号 0282098



◆令和2年度は、368件  
 5,738,586円のご寄付をいただきました。ありがとうございました。  
 (ご寄付いただいた方々のお名前を別紙をご覧ください)

## 資料のご寄贈をありがとうございました

今年度も出版社、作家、研究者、同人誌サークルなどから、児童書や児童書に関する資料などの寄贈をいただきました。これらの資料は、永久保存および一般の利用に供するため、大阪府立中央図書館国際児童文学館に引き継ぎました。(ご寄贈いただいた方々のお名前別紙を添付させていただきます)

図書	17,664冊
雑誌	4,279冊
その他資料	857点
計	22,800点

## 編集後記

「大阪国際児童文学振興財団レポート第11号」をお届けいたします。当レポートでは、令和2年度に実施しました主な事業を掲載しています。公式の事業報告、決算報告はホームページで公開しています。図書資料の寄贈・寄付金・各種の事業協力など、皆さまのご支援・ご協力が深く感謝いたします。引き続き皆さまのご支援をお願い申し上げます。忌憚のないご意見をお願い申し上げます。